

すべては子どもたちのために

効果的な学校評価の探求

札幌市立藻岩中学校

I はじめに

学校の指針としての評価

1 本校における学校評価のねらい

62年という本校の歴史は、地域と共に歩んできた歴史でもある。

本校の同窓会や地域の方々からは、周年行事だけでなく、日常的に様々な場面で支えられてきた。

本校の学習活動の中でも、地域に根差し、地域とのかかわりを深めようとする取組も多い。総合的な学習の時間の一環として行ってきた、地域の歴史や自然を学ぶ活動、校区内の公園の清掃活動、また、生徒会活動では、リングプル回収により地域にある福祉施設に車いすの寄贈を数回行ってきた。

体育的行事においても、地域に隣接するスキー場や公園を利用して開催している。

これらの恵まれた本校の学習環境は、地域住民によって支えられてきたといっても過言ではない。その地域や保護者の方々が本校の実態を把握し、適宜いただく助言を我々教職員が真摯に受け止めることは、開かれた学校づくりを目指すだけに留まらず、本校の生徒に直接かかわる教育活動全般における指針となると考える。

2 昨年度の学校評価をもとにした重点課題

昨年度の学校評価結果と分析を踏まえ、以下の点を今年度の重点課題として設定し、年間を通じて意識して実践してきた。また、単年度ではなく数年間にわたる課題として、今後も継続していくものも含まれている。

- ① 学校教育目標や重点についての周知
- ② 生徒が関心・意欲を高めるための学習活動の工夫・研究
- ③ 総合的な学習の時間における指導目標の明確化と、学習内容の充実
- ④ 道徳教育の充実
- ⑤ より多角的で精度の高い評価の探求
- ⑥ 生徒指導面での課題について組織的に対応する体制作り
- ⑦ 落ち着いた学習環境の醸成
- ⑧ あいさつの励行

II 本校の学校評価システム

全校で取り組む学校評価を目指して

1 自己評価の充実を図る組織体制

昨年度の評価項目を基本として、各部、学年などの全教職員で改善点を検討するとともに、教務部内の研修係が集約し、再度提案している。評価委員会という名称ではないが、各部や学年の代表と取りまとめの研修係が構成の中心となっている。

今年度の特徴的な体制としては、特に教職員による中間評価を行った点である。

1年間の実質的な中間に当たる時期を8月末から9月初旬であると考え、教職員のみで中間的な自己評価を行った。評価項目は、年度の後半にある行事に関するものを

除き、学校経営や学習指導、生徒指導面について設定し、前半の取組を振り返り、昨年度末の評価との変容を分析した。

その分析を研修会の場で提示し、そこから把握した課題を、年度の後半に向けて全教職員が意識して取り組むこととした。

評価委員の温かな
まなざし

2 学校関係者評価委員会

これまで、学校評議委員は委嘱していたが、昨年度から学校関係者評価委員会を設置し、学校評価の主旨説明と1年間の取組の流れについて確認した上で、様々な観点から自己評価に対する助言をいただいた。

構成メンバーは、PTA会長、元PTA会長、地域の学校関係者として本校に隣接する小学校の校長、青少年健全育成会会長、町内会連合会会長、地域の方の代表として同窓会役員の6名で構成されている。その中の3名は学校評議員である。

人選は、一昨年度に当時の校長を中心に行い、今年度で2年目となり、学校での行事や学習活動の様子だけでなく、日常的にも地域子どもたちとして温かく見守っていただいている。

特に、本校に多く入学してくる小学校の校長先生からは、小学校での様子と比較して、生徒が大きく成長している点を挙げていただき、小学校と中学校の連携の大切さを痛感している。


本校からは、校長、教頭、教務係、研修係が委員会に出席し、特に研修係は、評価項目の設定から、アンケートの実施と集計、分析を中心的に推し進め、委員会では記録をとり、それらも資料として参考にしながら学校関係者評価書の作成を行っている。

教務係は、評価委員会の設定と委員会での補足的な説明、自己評価書と関係者評価書の作成を行っている。

Ⅲ 学校評価の一年間の流れ

学校関係者評価委員の構成人員が、昨年度から変更がなく継続していることもあり、結果的には、以下の予定よりも関係者評価委員会の回数が減ってしまった。

	自 己 評 価			学校関係者評価
	学 校 (教職員)	生 徒	保 護 者	学校関係者評価委員会
4	学校経営方針・重点目標 年間推進計画立案 PTA 総会、授業参観実施		授業参観・懇談	学校評議委員に、学校関係者評価委員会設置主旨説明 学校関係者評価委員会設置 ↓
5	学年PTA集会(学校教育説明会) 研修係(評価項目の見直し案作成)			
6	学校公開①参観アンケート実施		学校公開①アンケート	
7	教育課程検討委員会 (中間と年度末評価項目の決定)			
8	中間評価アンケート実施(教職員)			
9			学校祭公開アンケート	
10	学校公開②参観アンケート実施 授業参観・学年PTA集会実施		学校公開②アンケート 授業参観・懇談 合唱コンクール公開アンケート	

11	行事アンケート集約 教育課程検討委員会 学校評価アンケート実施 教師学校評価アンケート実施	学校評価 アンケート 調査・提出	学校評価 アンケート調査・提出	学校関係者評価委員会 (学校経営・重点目標説明) *学校公開・行事参観により、学校の様を観ていただく。  送付内容 アンケート集約表 市報告書 自己評価書 関係者評価書雛形 (自己評価提示) 学校関係者評価委員会 (評価と課題提示)
12	教育課程検討委員会 (分析に向けての準備)			
1	結果の分析・改善点 教育課程検討委員会			
2	教育課程検討委員会 (各部の集約・分析) 学校公開③参観アンケート実施 年度末反省 (改善案の検討・自己評価の提示) 教育課程検討委員会 (評価書完成→学校関係者へ送付)		学校公開③アンケート	
3	自己評価書・学校関係者評価書完成と 公開の準備 (HP・学校だより) 次年度重点目標の設置			

IV 学校評価の方法

1 自己評価

(1) 現在の自己評価に至る経緯

本校では、平成17年度より、教師による自己評価を実施・分析し、反省職員会議に生かす取組をスタートさせた。

その後の2年間で、教師、生徒、保護者の3者を比較分析できるよう評価項目を設定し、評価項目として若干の整理・改善を経て現在に至っている。

3者の評価項目を共通にすることで、我々教職員と保護者の要求、現状や問題点に対する認識の違いを明確にすることができた。

平成20年度から本研究を始め、集計結果をより視覚的に訴えるために分析資料のグラフ化を行った。

(2) 中間評価の実施

今年度は、教職員による中間評価アンケートを実施し、昨年度末の評価との変容を比較・分析した。中間評価アンケートと今年度末として行ったアンケート結果とを比較し、肯定的な回答の減少が顕著な項目を各係内で次年度の重点課題として設定した。また、評価のAとBを焦点化し、変容については矢印等の視覚的な表記とした。

(資料参照)

中間評価の実施時期については先にも述べたが、中学校の場合、1年間を前後期に分ける時期の設定が難しく、学習面や生活面での課題を前半でいかに意識して取り組むかが大切となる。

(3) 研修会の活用

時間が限られている職員会議では変容をデータ化した資料の提示にとどまるため、年間5回行われる研修会も利用して研究討議を深めている。これにより、全教職員が共通の認識をもつことができたと思われる。中間評価による後半に向けての課題としては、基礎・基本の定着を図るための学習活動の工夫と、生徒指導

分析がしやすい工夫

中間評価の導入

効果的な研修会の活用

面での課題が浮き彫りになった。

(4) 次年度への課題

各部での項目ごとの分析により、委員会で焦点を絞って改善点を見出して学校関係者評価委員会に提出していくこととした。

2 学校関係者評価

評価書作成の方法

(1) データなどの資料の提示

昨年度の評価と中間評価、中間評価と今年度末の評価、昨年度と今年度末の評価の3つの変容を資料に盛り込み、それを評価委員に事前に送付している。委員会当日いきなりデータを見せられても、分析するのが困難なためである。

また、事前に自己評価書も作成しているのので、自己評価の適切さ、改善策の適切さについて、焦点を絞った話し合いをすることができた。

(2) 学校関係者評価書の作成

委員の方それぞれに評価書に記入していただき、それを集約して作成する方法もあるであろうが、それでは話し合いが深まりにくいと思われる。学校関係者評価委員会での話し合いの内容を議事録に取っておくと、それをもとに評価書の評価と意見を作成しやすくなった。

V 評価結果の公表

公表の方法

本校における評価結果の公表については、自己評価書と学校関係者評価書、各部からの分析と次年度に向けての改善策を掲載し、生徒の全家庭に配布している。

また、学校だよりでは、変容として顕著な評価項目を取り上げる予定である。また、学校ホームページにも掲載している。

VI 成果と課題

中間評価の分析を受けて、校内研修会で年度後半の取組の改善点を確認した。

その中では特に、基礎・基本を定着させるための工夫と、授業における生徒の興味・関心を高めるための手だてについて研究討議を行った。また、あいさつについて、生徒の意識が低くなってきた傾向を受けて、教師自らがあいさつを励行することの大切さが確認できた。

昨年と比較して、肯定的な回答の減少傾向が顕著となった生徒指導面については、生徒との日常のかかわりを大切すること、我々教師が、アンテナをより高く張って状況を把握することで、的確に生徒に働きかけることができるという、日々の積み重ねの大切さを確認し合い、また、学校関係者評価委員の方からも指摘をいただいたところである。

学校評価の具体的な方法としての課題では、以下の2点が考えられる。

- ・行事や授業参観でのアンケートを、学校評価にどう反映させていくか。
- ・保護者と生徒にも中間評価を行うことを検討しているが、今回行った8月末から11月上旬の最終評価の間では期間が短いために、変容を見取ることが難しく、中間評価の適切な実施の時期はいつなのか。

学校は、保護者や地域からの意見や要求に対して真摯に耳を傾け、自分たちの課題として捉えること、それこそが学校評価の原点である。これらを基に取り組んだ結果は、すべて子どもたちに反映される。

平成21年度 学校評価アンケート(比較・集計)

下の数値は、アンケートの「A:よくあてはまる」と「B:だいたいあてはまる」の割合を合計したものである。

↑↓の記号は、昨年度と比較して、増減が10%以上の項目につけてある。

網掛けは、減少の顕著なものとして、次年度に向けての課題となるもの。

評価①・・・昨年の年度末評価と中間評価(8月下旬に教職員のみ実施)との比較

評価②・・・中間評価(8月下旬に教職員のみ実施)と今年度末評価(10月下旬に3者で実施)との比較

評価③・・・昨年の年度末評価と今年度末評価との比較

		教職員(自己評価)					保護者					生徒						
分類	No.	質問内容	昨年度	中間	評価①	今年度	評価②	評価③	No.	質問内容	昨年度	今年度	評価③	No.	質問内容	昨年度	今年度	評価③
学校運営	1	本校の「学校教育目標」が本校の目指すべきものとしてふさわしいか。	82	-	-	97	-	↑										
	3	本校の「望ましい生徒像」が生徒の実態や保護者の願いを踏まえたものとしてふさわしいか。	83	-	-	79	-	→	1	学校は、「望ましい生徒像」の「気づき、考え、実行する生徒」に向けて努力していると思いますか。	69	70	→	1	学校は、「望ましい生徒像」の「気づき、考え、実行する生徒」の育成に向けて努力していると思いますか。	64	64	→
	4	本校の「望ましい生徒像」を生徒、保護者、地域に周知しているか。	47	-	-	42	-	→										
	5	学校は、保護者や地域へ情報提供を積極的に行っているか。	79	93	↑	76	↓	→	2	学校は、保護者や地域へ情報提供を積極的に行っていると思いますか。	79	82	→					
	6	学校は、行事や授業を参観する機会を設けているか。	100	96	→	100	→	→	3	学校は、行事や授業を参観する機会を設けていると思いますか。	93	92	→					
	PTA	7	学校は、PTA活動が活発になるような取り組みをしているか。	88	81	→	91	↑	→	4	本校のPTA活動は活発に行われていると思いますか。	82	82	→				
8		教科で、基礎基本の定着のための工夫をしているか。	94	81	↓	91	↑	→						2	必修教科の授業は、理解しやすいですか。	81	81	→
学習指導									5	学校は、理解しやすい必修教科の授業づくりをしていると思いますか。	54	56	→					
	11	道徳で、心を育てる指導の工夫をしているか。	48	56	→	61	→	↑	7	道徳教育などが、心の成長を促していると感じますか。	58	54	→	4	道徳で学習したことが身に付いたと思いますか。	68	65	→
	12	総合的な学習で、目標に沿った内容の工夫をしているか。	83	74	→	67	→	↓	8	お子さんの総合学習の取り組みをご存知ですか。	51	49	→	5	総合学習の取り組みで、自分なりにがんばったと思いますか。	84	87	→
	13	生徒1人ひとりを生かす進路指導の充実を図っているか。	94	85	→	82	→	↓	9	学校は、生徒1人1人を生かす進路指導の充実を図っていると思いますか。	55	53	→	6	学校は、生徒1人1人を生かす進路指導をしていると思いますか。	69	61	→
	14	生徒1人ひとりを生かす評価・評定の工夫をしているか。	95	85	↓	88	→	→	10	お子さんの成績は、正しく評価されていると思いますか。	84	87	→	7	あなたの成績は、正しく評価されていると思いますか。	79	83	→
									11	学校は、集中して学習に取り組むことができる雰囲気になっていると思いますか。	56	65	→	8	学校は、集中して学習に取り組むことができる雰囲気になっていると思いますか。	62	68	→

生活指導	16	きまりについて、教職員、生徒・保護者の共通理解を図る工夫をしているか。	77	74	→	73	→	→	12	学校は、学校のきまりを周知する努力をしていると思いますか。	81	79	→	9	学校には、きまりを守る雰囲気がありますか。	65	68	→	
		生徒どのがかりを認める工夫しているか。	80	85	↑	85	↑	↑	13	学校は、子供たちをよく理解しながら適切に指導してくれていますか。	57	63	→	10	先生方は、生徒の話をよく聞いてくれますか。	74	75	→	
	18	不登校生徒、その保護者に対して組織的に対応しているか。	65	59	→	64	→	→											
		生活上の問題点や問題点に対応が早い。	59	55	→	50	→	→	14	学校は、生活上の課題や問題点を早期に見つけて、一貫した対応や指導をしていますか。	61	56	→	11	先生方は、生活上の問題点に素早く対応して指導してくれていますか。	74	73	→	
		校内生活を楽しくしているか。	70	70	→	70	→	→	15	学校は、落ち着いた生活の場になっていると思いますか。	66	69	→	12	学校は、いじめや暴力のない安心して過ごすことのできる場所になっていますか。	69	72	→	
	21	あいさつが交わされている雰囲気作りに努めているか。	94	81	↓	88	→	→	16	学校は、あいさつがかわされる環境作りに努めていると思いますか。	79	83	→	13	学校は、あいさつを進んで言う雰囲気になっていると思いますか。	81	86	→	
特別活動	22	旅行的行事では、生徒が自発的に取り組む手立てを工夫しているか。	88	85	→	79	→	→	17	お子さんは、旅行的行事(炊事遠足・宿泊学習・修学旅行)に意欲的に参加していましたか。	96	94	→	14	あなたは、旅行的行事(炊事遠足・宿泊学習・修学旅行)に積極的に参加しましたか。	91	95	→	
	23	学校祭では、生徒が意欲的に取り組む手立てを工夫しているか。	94	-	-	91	-	→	18	お子さんは、学校祭で意欲的に参加していましたか。	95	88	→	15	あなたは、学校祭で意欲的に取り組みましたか。	91	82	→	
	24	合唱コンクールなどの文化的活動では、生徒が意欲的に取り組む手立てを工夫しているか。	88	-	-	94	-	→	19	お子さんは、合唱コンクールなどの文化的活動に意欲的に参加していましたか。	96	93	→	16	あなたは、合唱コンクールなどの文化的活動に意欲的に取り組みましたか。	91	89	→	
	25	体育大会・記録に挑戦に生徒が自発的に取り組む手立てを工夫しているか。	82	85	→	73	↓	→	20	お子さんは、体育大会・記録に挑戦に意欲的に参加していましたか。	90	82	→	17	あなたは、体育大会・記録に挑戦で意欲的に取り組みましたか。	90	85	→	
環境整備	26	清掃活動に生徒が積極的に取り組む工夫をしているか。	83	63	↓	76	↑	→	21	校舎内外や教室はきれいだと思いますか。	84	85	→	18	あなたは、校舎内外や教室をきれいに使っていますか。	93	90	→	
	27	学校の施設・設備の整備・充実に取り組んでいるか。	41	-	-	70	-	↑	22	学校の施設や設備は大切に使われていると思いますか。	78	79	→	19	あなたは、学校の施設や設備を大切にしていますか。	92	92	→	
	28	学校の施設・設備に満足していますか。	18	-	-	24	-	→	23	学校の施設・設備に満足していますか。	60	63	→	20	学校の施設・設備に満足していますか。	59	61	→	